

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	結婚応援事業	NO.	1
担当所属	地域コミュニティ課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 結婚・妊娠・出産に向けた支援の充実	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	結婚を希望する方々に出会いの機会を提供するとともに、結婚に対する意識の醸成を図るため、結婚相談や婚活イベント等を実施し、結婚に向けた支援を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	結婚を希望する方々のきっかけづくりとして、出会いの機会を創出する。
対象 (誰・何を対象として)	結婚を望む市民（男性は市内在住・在勤、女性は居住地問わず）
手段 (どのようなやり方で)	講師による婚活セミナーの開催や、婚活イベントを複数回実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	結婚に向けた支援をすることにより、少子化への対応を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	婚活セミナーの開催 婚活イベントの実施 結婚相談所への登録促進	婚活セミナーの開催 婚活イベントの実施 結婚相談所への登録促進	婚活セミナーの開催 婚活イベントの実施 結婚相談所への登録促進

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① カップリング件数	件数	12 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 婚活セミナー実施回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	② 婚活イベント開催回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,479	2,446	2,446	2,446	7,338
一般財源	1,826	1,736	1,736	1,736	5,208
特定財源	653	710	710	710	2,130

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	こども家庭センター運営事業	NO.	2
担当所属	こども家庭センター	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(2) こどもや子育て世帯への支援の充実	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市民が安心して子育てができるように、妊娠から出産・子育て期の家庭の不安や悩みに寄り添い、切れ目ない支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	子育て世代の市民が安心して子どもを産み育てられる環境を実現するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	妊産婦及び子ども並びにその家族
手段 (どのようなやり方で)	こども家庭センターに専門職を配置し、妊娠期から子育て期の市民の不安に寄り添うと共に、発育発達に応じた相談や支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	子育てに関する総合的な窓口としての役割を果たすことにより、市民が安心して子育てができる環境を構築する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	専門職による妊娠から出産、子育てまでの相談・支援の実施 医療・福祉・教育等関係機関との連携強化	専門職による妊娠から出産、子育てまでの相談・支援の実施 医療・福祉・教育等関係機関との連携強化	専門職による妊娠から出産、子育てまでの相談・支援の実施 医療・福祉・教育等関係機関との連携強化

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 相談件数	件	1,538 (R4~R6平均)	1,500	1,500	1,500	1,500 (R10)
	② こども家庭センター周知回数	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	3,013	8,543	8,182	8,182	24,907
一般財源	1,028	5,060	4,699	4,699	14,458
特定財源	1,985	3,483	3,483	3,483	10,449

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	支援対象児童等見守り事業	NO.	3
担当所属	こども家庭センター	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(2) こどもや子育て世帯への支援の充実	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	支援が必要な児童等の家庭が孤立しないように、民間団体のアウトリーチによる見守りを行うとともに、要保護児童対策地域協議会と連携し、支援に繋がります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	支援対象児童等が孤立化しないよう状況把握しながら見守り、必要な支援につなげるなどにより、児童虐待を防止するとともに重篤化を防ぐ。
対象 (誰・何を対象として)	市内の支援対象児童等（児童福祉法第25条の2第2項）
手段 (どのようなやり方で)	市が委託したこども宅食を行う民間団体にて、支援対象児童等の居宅等を訪問し、状況の把握、食品等の提供を行う。その状況を要保護児童対策地域協議会等に報告し、必要な支援につなげる。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	支援対象児童等が地域社会と繋がることで、虐待のリスク要因である孤立化を防ぎ、こども達が安心して暮らせるようになる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	民間団体等による訪問 要保護児童対策地域協議会等との連携	民間団体等による訪問 要保護児童対策地域協議会等との連携	民間団体等による訪問 要保護児童対策地域協議会等との連携

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 支援対象児童数	人	60 (R6)	60	60	60	60 (R10)
	② 訪問回数	回	228 (R6)	1,440	1,440	1,440	1,440 (R10)
	③ 要保護児童対策地域協議会への参加	回	12 (R6)	12	12	12	12 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	2,822	5,144	5,144	13,110
一般財源	0	941	1,715	1,715	4,371
特定財源	0	1,881	3,429	3,429	8,739

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	私立保育施設等整備助成事業	NO.	4
担当所属	子育て支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 幼児教育・保育サービスの充実	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市こども計画に基づき、民間事業者による小規模保育事業所等の施設整備費の一部を助成することで、子育て環境の整備を推進します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	増加する保育ニーズに対応するため。
対象 (誰・何を対象として)	小規模保育事業所等を整備する民間事業者
手段 (どのようなやり方で)	公募等により事業者を選定し、施設整備補助金を交付することにより、施設整備費の一部を助成する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	民間事業者による保育施設整備を計画的に推進し、ニーズに見合った保育の受け皿を確保する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	児童数の確認等	私立小規模保育事業所の施設整備への助成	児童数の確認等

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 待機児童数	人	0 (R6)	0	0	0	0 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 私立保育施設等の建設に対する助成	施設	0 (R6)	0	1	0	1 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	117,489	0	145,278	0	145,278
一般財源	39,169	0	48,431	0	48,431
特定財源	78,320	0	96,847	0	96,847

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	NO.	5
担当所属	子育て支援課	関連所属	保育幼稚園課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 幼児教育・保育サービスの充実	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	令和8年4月から新たに全国で展開される乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）において、当市の利用児童の受け皿の確保と保護者へ制度の周知及び利用を促進し、全ての子育て家庭に対して、働き方やライフスタイルにかかわらずい形で支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	保護者の就労状況にかかわらず、生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象に、月一定時間まで保育を提供する。
対象 (誰・何を対象として)	市内の私立の教育・保育施設事業者、公立保育所、保護者（生後6か月～満3歳未満の児童）
手段 (どのようなやり方で)	事業者への制度の周知、公立保育所での受入の検討、広報などによる保護者への周知
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	乳児等通園支援事業の定員の受け皿を確保し、こどもの良質な生育環境を整備する。 制度を円滑に実施し、全ての子育て家庭に対して、働き方やライフスタイルにかかわらずい形で支援を行う。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	私立教育、保育施設事業者への制度の周知・提供体制の確保 保護者への制度周知・利用の促進 公立保育所での実施 私立保育施設の運営支援	私立教育、保育施設事業者への制度の周知・提供体制の確保 保護者への制度周知・利用の促進 公立保育所での実施 私立保育施設の運営支援	私立教育、保育施設事業者への制度の周知・提供体制の確保 保護者への制度周知・利用の促進 公立保育所での実施 私立保育施設の運営支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 利用率	人日	0 (R6)	9	10	12	12 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 保護者への周知	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	② 民間事業者への周知	回	0 (R6)	0	1	0	1 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	0	23,924	29,144	34,455	87,523
一般財源	0	2,991	3,643	4,308	10,942
特定財源	0	20,933	25,501	30,147	76,581

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	多様なニーズに応じた保育サービス事業	NO.	6
担当所属	保育幼稚園課	関連所属	子育て支援課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 幼児教育・保育サービスの充実	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	児童を持つ保護者が安心して子育てができるよう、多様なニーズに対応した一時預かり、延長保育、休日保育、病児・病後児保育など各種保育サービスを実施していきます。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	小学校就学前児童の一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育、病後児保育等の保育サービスを実施し、児童を持つ保護者の多様なニーズに対応していく。
対象 (誰・何を対象として)	小学校就学前の児童及びその保護者
手段 (どのようなやり方で)	公立保育所や私立保育園、認定こども園と連携を取り、実施していく。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	妊娠・出産や就労といった事情によって、保育が必要となる児童を持つ保護者へ多様な保育サービスを実施し、安心して子育てできる環境を整備する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育、病後児保育の実施・PR	一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育、病後児保育の実施・PR	一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育、病後児保育の実施・PR

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	一時預かりの実施	箇所	7 (R6)	8	8	8	8 (R10)
	②	延長保育の実施	箇所	24 (R6)	25	25	26	26 (R10)
	③							
活動指標	①	周知回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	344,395	364,983	364,984	364,985	1,094,952
一般財源	159,413	169,913	169,914	169,915	509,742
特定財源	184,982	195,070	195,070	195,070	585,210

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	放課後児童クラブ支援事業	NO.	7
担当所属	子育て支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 安心して産み育てられる子育て環境の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に、放課後等の適切な遊びと生活の場を提供するため、民設の放課後児童クラブへの助成と公設の放課後児童クラブの運営を行います。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学校児童を対象に、放課後等に適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内において要件を備え放課後児童クラブを運営している事業者（NPO法人等）
手段 (どのようなやり方で)	民設の放課後児童クラブについては補助金を交付し運営を支援し、公設の放課後児童クラブについては指定管理者に管理を委託して適切な運営を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童に対して、放課後等に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、安心して子育てができる環境の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	補助金の交付 指定管理者による運営 指定管理者の選定手続き（奈良輪小学校区）	補助金の交付 指定管理者による運営	補助金の交付 指定管理者による運営

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 年間利用平均児童数	人	941 (R6)	985	1,025	1,000	1,000 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 放課後児童クラブ設置数	支援単位	22 (R6)	22	23	23	23 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	175,826	220,552	245,545	257,853	723,950
一般財源	72,093	99,606	123,175	128,439	351,220
特定財源	103,733	120,946	122,370	129,414	372,730

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	放課後児童クラブ施設整備事業	NO.	8
担当所属	子育て支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 安心して産み育てられる子育て環境の整備	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	奈良輪小学校の学級数の増加に対応するため、公設により放課後児童クラブ会館を建設し、校舎内で運営する放課後児童クラブを移転します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	奈良輪小学校区における放課後児童クラブについて、必要な受入定員を確保するため
対象 (誰・何を対象として)	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学校児童
手段 (どのようなやり方で)	公設の放課後児童クラブ会館を整備し、指定管理者に管理を委託して適切な運営を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童に対して、放課後等に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、安心して子育てができる環境の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	放課後児童クラブ会館建設工事（奈良輪小学校区） 放課後児童クラブの開所		

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 公設の放課後児童クラブの利用定員数	人	250 (R6)	400	400	400	400 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 公設の放課後児童クラブ数	クラブ	4 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	32,596	332,245	0	0	332,245
一般財源	32,596	31,664	0	0	31,664
特定財源	0	300,581	0	0	300,581

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	NO.	9
担当所属	保育幼稚園課	関連所属	子育て支援課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__1. こども・子育て支援	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 安心して産み育てられる子育て環境の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	児童を持つ保護者が安心して子育てができるよう、子育て支援センターを運営する私立保育施設へ助成するとともに、「そでがうらこども館」の運営を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	核家族化や少子高齢化が進展する中、出産・妊娠や子育てに関する情報収集や相談、親子間や保護者同士で交流を図れる場の運営を行う。
対象 (誰・何を対象として)	小学校就学前の児童及びその保護者
手段 (どのようなやり方で)	子育て支援センターを運営する私立保育施設へ国県の補助金を活用した支援を行う。 公立の子育て支援センター「そでがうらこども館」を適切に運営する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	保護者が安心して出産・子育てできる環境を提供し、子育てに悩む保護者の精神的な支えや児童の健やかな成長の一助とする。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	そでがうらこども館での子育て支援 私立保育所での子育て支援センターの運営 支援 ホームページ、広報などを通じての子育て支援センターの周知	そでがうらこども館での子育て支援 私立保育所での子育て支援センターの運営 支援 ホームページ、広報などを通じての子育て支援センターの周知	そでがうらこども館での子育て支援 私立保育所での子育て支援センターの運営 支援 ホームページ、広報などを通じての子育て支援センターの周知

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 子育て支援センター延べ利用者数	人	23,513 (R6)	25,000	26,000	27,000	27,000 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 子育て支援センター設置箇所数	箇所	7 (R6)	8	8	8	8 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	13,624	14,852	15,492	14,852	45,196
一般財源	9,394	9,768	10,408	9,768	29,944
特定財源	4,230	5,084	5,084	5,084	15,252

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	歯科疾患予防事業	NO.	10
担当所属	健康推進課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__2. 健康づくり・医療	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 健康づくりへの支援	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	う蝕予防のためのフッ化物洗口の実施に関する取組を行います。 歯科疾患予防のための歯科保健指導等、地域における口腔保健の推進に資する取組を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市民の口腔の健康の保持を推進させる観点から、市民に対してう蝕予防のためのフッ化物局所応用、歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上に関する取組の推進を図ることを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	フッ化物洗口実施施設及び集団（個別）歯科保健指導参加者
手段 (どのようなやり方で)	う蝕予防のための市内保育所及び小中学校に対し集団フッ化物洗口を実施する。 歯科疾患予防のための集団または個別に歯科保健指導を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	むし歯、歯周疾患の減少 健康格差の縮小

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	歯科相談の実施 歯科健康教育の実施 集団フッ化物洗口の実施	歯科相談の実施 歯科健康教育の実施 集団フッ化物洗口の実施	歯科相談の実施 歯科健康教育の実施 集団フッ化物洗口の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 12歳児一人平均むし歯数	本	0.7 (R6)	1.0本以下	1.0本以下	1.0本以下	1.0本以下 (R10)
	② 3歳でう歯のない者の割合	%	92.9 (R6)	増加	増加	増加	増加
	③						
活動指標	① フッ化物洗口実施施設数	施設	0 (R6)	2	3	4	4 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	239	735	1,296	2,036	4,067
一般財源	0	94	84	824	1,002
特定財源	239	641	1,212	1,212	3,065

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	食生活改善推進事業	NO.	11
担当所属	健康推進課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__2. 健康づくり・医療	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 健康づくりへの支援	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	住民と行政のパイプ役を担うボランティア団体とともに地域住民の食生活の改善・健康づくりに取り組みます。子どもから高齢者まで生涯を通じた食育を推進し、健康づくりの担い手として、自然と健康になれる食環境の整備に取り組みます。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	正しい食生活の普及啓発を通じて市民の健康づくりを支援する。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び小売店
手段 (どのようなやり方で)	調理講習会や健診等を通じた健康に関する普及啓発を実施する。 小売店等と連携した減塩食の普及啓発を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	健康に関心を持ち、減塩等健康に向けた取り組みを実施する市民の増加。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	調理講習会の実施 高校等における食育の実施 健診等を活用した食育の実施 小売店等との連携事業の実施	調理講習会の実施 高校等における食育の実施 健診等を活用した食育の実施 小売店等との連携事業の実施	調理講習会の実施 高校等における食育の実施 健診等を活用した食育の実施 小売店等との連携事業の実施

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	高血圧の割合（Ⅱ度高血圧160/100以上の者の割合）	%	7.2% (R4)	減少	減少	減少	減少
	②							
	③							
活動指標	①	食に関する講座等の開催回数	回	6 (R6)	6	6	6	6 (R10)
	②	小売店等との連携事業の実施	回	0 (R6)	1	2	2	2 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	704	728	822	822	2,372
一般財源	704	728	822	822	2,372
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	特定健康診査等事業・特定保健指導事業	NO.	12
担当所属	保険年金課	関連所属	健康推進課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 健康づくり・医療	会計区分	国保会計
	方向性	(2) 疾病の予防・早期発見・早期治療に向けた取組の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	生活習慣病の予防・改善のため、特定健康診査等及び特定保健指導を実施します。健診結果により腎臓病地域連携パスを送付し、かかりつけ医・専門医・市役所が連携して、慢性腎臓病の重症化予防に取り組めます。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	生活習慣病の予防・改善と重症化予防対策により、被保険者の健康の保持増進を確保しながら、医療費の適正化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	国民健康保険被保険者の40歳～74歳
手段 (どのようなやり方で)	策定した特定健康診査等実施計画、データヘルス計画に基づき実施する。健診結果より内臓脂肪型肥満に着目した階層化を行ない、それに応じた保健指導を実施する。腎臓病地域連携パスは、医師会と協議を行い、運用方法の改善を図り、新規人工透析導入者の減少に向けた取り組みを強化する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	生活習慣を改善することにより、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症等）の発症を抑え、重症化や合併症を予防するとともに、市民生活の質を向上し医療費の適正化を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	特定健康診査の実施（個別・集団） 特定保健指導の実施 生活習慣病及び慢性腎臓病の予防・改善	特定健康診査の実施（個別・集団） 特定保健指導の実施 生活習慣病及び慢性腎臓病の予防・改善	特定健康診査の実施（個別・集団） 特定保健指導の実施 生活習慣病及び慢性腎臓病の予防・改善

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	特定健康診査の受診率	%	49.2 (R5確定)	60.0	60.0	60.0	60.0 (R10)
	②	特定保健指導の実施率	%	59.1 (R5確定)	61.0	61.5	62.0	62.0 (R10)
	③							
活動指標	①	広報による事業周知	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	②	人間ドック要精密検査等結果報告依頼率	%	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	67,653	67,911	79,693	79,164	226,768
一般財源	300	0	0	0	0
特定財源	67,353	67,911	79,693	79,164	226,768

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	感染症対策の推進	NO.	13
担当所属	健康推進課	関連所属	こども家庭センター

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_2. 健康づくり・医療	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 感染症対策の推進	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	感染症を予防するための定期予防接種の実施や日常生活における感染予防策の取組みへの啓発を行うとともに、新型インフルエンザ等の新興感染症発生時に迅速かつ円滑に対応するための体制整備を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	感染症に係る対策の推進を図り、市民が安心して健やかに生活できることを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	君津木更津医師会等関係機関、市民
手段 (どのようなやり方で)	市民に対して、定期予防接種の必要性や日常生活における感染症予防や新興感染症発生への備えについての啓発を行う。新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえた新興感染症への対応について関係機関等と協議を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	感染症対策を進めることにより、感染症を予防したり、新興感染症への対応を迅速かつ円滑に行うことができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	定期予防接種の啓発・実施 感染症予防等の啓発 市内医療機関等関係機関との連携・協議	定期予防接種の啓発・実施 感染症予防等の啓発 市内医療機関等関係機関との連携・協議	定期予防接種の啓発・実施 感染症予防等の啓発 市内医療機関等関係機関との連携・協議

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 麻疹・風疹ワクチン (I期・II期) 接種率	%	92.3 (R6)	93	94	95	95.0 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 定期予防接種に係る市民への啓発	回	5 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	② 日常生活における感染症予防に対する市民への啓発	回	0 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	208,316	208,468	210,546	212,645	631,659
一般財源	208,166	208,268	210,346	212,445	631,059
特定財源	150	200	200	200	600

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域医療提供体制の確保	NO.	14
担当所属	健康推進課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__2. 健康づくり・医療	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 地域医療提供体制の確保	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	関係機関と連携し、初期医療や二次救急医療体制の確保に努めるとともに、大規模災害発生時等に迅速に対応を行うための体制の確保に努めます。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市民が必要時適切な医療を受けられる体制を確保し、安心して生活できることを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	君津木更津医師会等関係機関、木更津市等関係市、市民
手段 (どのようなやり方で)	地域医療提供体制の確保に向けた君津木更津医師会等関係機関や関係市との会議等での検討 広報等による市民への医療に係る啓発 看護師確保に向けた看護師修学資金の貸付
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民が必要時に適切な医療を受けることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	初期救急医療の実施・体制の見直し 二次救急医療の実施 君津木更津医師会等関係機関との連携・協議 看護師等修学資金貸付制度の検討 医療の適正利用等の啓発	初期救急医療の実施・体制の見直し 二次救急医療の実施 君津木更津医師会等関係機関との連携・協議 看護師等修学資金貸付制度の実施 医療の適正利用等の啓発	初期救急医療の実施・体制の見直し 二次救急医療の実施 君津木更津医師会等関係機関との連携・協議 看護師等修学資金貸付制度の実施 医療の適正利用等の啓発

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 市内在宅当番施設数	箇所	17 (R6)	16	16	16	16 (R10)
	② 君津地域二次待機施設数	箇所	11 (R6)	11	11	11	11 (R10)
	③ こども救急電話相談の認知度	%	0 (R6)	70.0	75.0	80.0	80.0 (R10)
活動指標	① 適正医療、救急時の対応手段等の市民への周知	回	13 (R6)	15	15	15	15 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	48,329	51,149	54,749	58,349	164,247
一般財源	48,329	51,149	54,749	58,349	164,247
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活性化事業	NO.	15
担当所属	スポーツ振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_3. スポーツ	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 地域スポーツ・レクリエーション活動の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市民誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、スポーツに親しみ、心身ともに健やかな生活を送ることができる環境を整えるため、総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。 さらに、袖ヶ浦市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携したイベントを開催します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市民誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、スポーツに親しみ、心身ともに健やかな生活を送ることができる環境を整えるため、総合型地域スポーツクラブの活動や市クラブ連絡協議会と連携したイベントを開催する。
対象 (誰・何を対象として)	市民
手段 (どのようなやり方で)	市クラブ連絡協議会の事務局として活動を支援する。 各クラブの活動の充実を図るため、補助金を交付する。 市クラブ連絡協議会と連携したイベントを開催する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各クラブの活動支援や市クラブ連絡協議会と連携したイベントを開催することで各クラブ活動を活発化させ、スポーツに親しむ人口が拡大する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	活動助成金の交付 市クラブ連絡協議会と連携したイベントの開催 クラブ内の種目数を増やす取組	活動助成金の交付 市クラブ連絡協議会と連携したイベントの開催 クラブ内の種目数を増やす取組	活動助成金の交付 市クラブ連絡協議会と連携したイベントの開催 クラブ内の種目数を増やす取組

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① クラブ会員数(5クラブの総合計)	人	814 (R6)	834	844	854	854 (R10)
	② 市クラブ連絡協議会と連携したイベントの総参加者数	人	1,442人 (R6)	1,512	1,547	1,582	1,582 (R10)
	③						
活動指標	① 無料体験会実施クラブ数	クラブ	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	② 市クラブ連絡協議会と連携したイベントの開催数	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③ 5クラブの合計種目数	種目	58 (R6)	59.0	60.0	61.0	61 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	3,061	3,061	3,061	3,061	9,183
一般財源	3,061	3,061	3,061	3,061	9,183
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	eスポーツ推進事業	NO.	16
担当所属	スポーツ振興課	関連所属	高齢者支援課、各交流センター

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__3. スポーツ	会計区分	介護会計
	方向性	(1) 地域スポーツ・レクリエーション活動の推進	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、スポーツに親しみ、心身ともに健やかな生活を送ることができるようにするとともに、多世代交流を促進するため、eスポーツを体験する機会を提供します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	eスポーツを推進することにより、子どもから大人まで広く市民におけるスポーツの振興及び健康増進と、介護予防につながる高齢者の社会参加を促進するとともに、多世代の交流の推進を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市民
手段 (どのようなやり方で)	eスポーツを各世代が体験できるよう各種イベントや既存の高齢者学級等の各種講座をはじめ、関係各課と連携し幅広い世代に向け実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	eスポーツ体験機会の提供により、市民がスポーツに親しむきっかけが創出されるとともに、心身ともに健やかな生活を送ることができる。また、世代を超えた交流の機会が拡大する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	eスポーツの体験会等（高齢者学級含む）の実施 今後の事業展開の検討 世代間交流イベントの試行実施	eスポーツの体験会等（高齢者学級含む）の実施 世代間交流イベントの開催	eスポーツの体験会等（高齢者学級含む）の実施 世代間交流イベントの開催

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① シニア向けeスポーツ体験会の参加人数	人	0 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	② 世代間交流イベントの参加人数（試行実施を含む）	人	0 (R6)	80	100	120	120 (R10)
	③						
活動指標	① シニア向けeスポーツ体験会の実施	回	0 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	② 世代間交流イベントの開催回数（試行実施を含む）	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	55	275	1,025	875	2,175
一般財源	24	112	1,025	875	2,012
特定財源	31	163	0	0	163

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	臨海スポーツセンター地域拠点利活用事業	NO.	17
担当所属	スポーツ振興課	関連所属	政策秘書課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_3. スポーツ	会計区分	一般会計
	方向性	(2) スポーツ・レクリエーション施設等の環境整備	新規事業	○
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	地域の拠点である臨海スポーツセンターの施設自体の老朽化の改善を行うとともに、立地エリアの活性化に効果が高い手法で新たな複合型施設の整備を検討し、地域の賑わいの創出を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	臨海スポーツセンターの老朽化の改善を図るとともに、立地エリアの活性化に効果の高い手法で新たな複合型施設を整備することにより、市民の健康増進及び利便性向上等を通じて、地域の賑わいの創出を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市民
手段 (どのようなやり方で)	検討委員会等を開催し、利活用方法の基本方針を検討する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康増進 ・市民の競技力の向上 ・地域の活性化 ・スポーツ人口の増加 ・市民の利便性の向上

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	利活用方法の検討	利活用方法の検討	利活用方法の基本方針決定

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 基本方針の策定	—	0 (R6)	0	0	1	1 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 検討委員会の開催	回	2 (R6)	4	3	3	3 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	10,560	3,801	5,000	16,000	24,801
一般財源	10,560	3,801	5,000	16,000	24,801
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	スポーツツーリズム推進事業	NO.	18
担当所属	スポーツ振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__3. スポーツ	会計区分	一般会計
	方向性	(3) スポーツツーリズムの推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	<p>プロスポーツ等の公式戦等を誘致し、質の高いスポーツを「みる」機会を提供することにより、スポーツに対する意識を醸成します。</p> <p>さらに、市外の学校等によるスポーツ合宿を誘致することにより、市外からの利用者や来訪者の増加を図るとともに、来訪者へ市の魅力等をPRし、地域の活性化を図ります。</p>
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	各種スポーツ大会の誘致を推進することにより、質の高いスポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに対する意識を醸成する。さらに市外の学校等によるスポーツ合宿の誘致を推進することにより、市外からの利用者や来訪者の増加を図るとともに、来訪者へ市の魅力等をPRし、地域の活性化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市民、施設利用者、来訪者
手段 (どのようなやり方で)	スポーツ団体や関係団体と連携して、大会や合宿の誘致を行うとともに、市外からの来訪者へ市の魅力等をPRする。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民が質の高いスポーツを「みる」ことにより、スポーツに対する意識醸成が図られ、スポーツに参加する市民が増え、市民の健康維持及び増進、また、スポーツ振興の推進にも寄与する。 合宿等の誘致（市外からの利用者・来訪者）により地域振興に寄与するとともに、来訪者へ袖ヶ浦市の魅力をPRし、さらに地域の活性化につながる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	プロスポーツ大会、各種スポーツ大会等の支援・誘致 スポーツ合宿の誘致	プロスポーツ大会、各種スポーツ大会等の支援・誘致 スポーツ合宿の誘致	プロスポーツ大会、各種スポーツ大会等の支援・誘致 スポーツ合宿の誘致

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 開催支援、誘致、協力した大会の動員数	人	25,544 (R6)	20,930	20,960	21,000	21,000 (R10)
	② 市外団体の合宿利用の延べ日数	日	44 (R6)	46	46	46	46 (R10)
	③						
活動指標	① 開催支援、誘致、協力した大会の回数	回	27 (R6)	18	19	20	20 (R10)
	② 合宿利用の市外団体数	団体	11 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	③ 市ホームページでの情報発信回数	回	0 (R6)	1	1	1	1 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	730	730	730	730	2,190
一般財源	730	730	730	730	2,190
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	身近な交流の場づくり推進事業	NO.	19
担当所属	地域福祉課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_4. 地域福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 地域の連携・身近な交流の場づくり	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	身近な地域において、高齢者、子育て中の親子等が孤立しないよう交流できる場（サロン）づくりや、地域の特性に合わせた活動の実施などを支援し、地域福祉推進の基盤づくりを進めます。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	身近な地域において、高齢者、子育て中の親子等が孤立しないよう交流できる場（サロン）づくりや、地域の特性に合わせた活動の実施などを支援し、地域福祉推進の基盤づくりを進める。
対象 (誰・何を対象として)	地域住民、ボランティア、NPO、地区社会福祉協議会等
手段 (どのようなやり方で)	身近な地域における交流の場づくりや地域の特性に合わせた活動の実施などを支援し、地域福祉推進の基盤づくりを進めるために、地区社会福祉協議会に対して補助金交付等を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地域におけるサロンの実施により地域交流・世代間交流の拠点として、高齢者、子育て中の親子等が孤立しないよう集える場を作る。 身近な地域の特性に合わせた活動を実施することにより、地域の住民同士のつながりができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	活動の支援 未開設地域での開設に向けた取組	活動の支援 未開設地域での開設に向けた取組	活動の支援 未開設地域での開設に向けた取組

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① サロン開催数 (社協実施)	回	229 (R6)	243	252	261	261 (R10)
	② サロン参加者数 (社協実施)	人	4,054 (R6)	4,374	4,536	4,698	4,698 (R10)
	③						
活動指標	① サロン開催箇所数 (社協実施)	箇所	26 (R6)	27	28	29	29 (R10)
	② サロン等の広報及びホームページによる周知回数	回	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	10,105	10,865	10,865	10,865	32,595
一般財源	6,465	7,225	7,225	7,225	21,675
特定財源	3,640	3,640	3,640	3,640	10,920

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	重層的支援体制整備事業	NO.	20
担当所属	地域福祉課	関連所属	障がい福祉課、高齢者支援課、こども家庭センター

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__4. 地域福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 重層的支援体制の充実	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、①包括的相談支援事業、②参加支援事業、③地域づくり事業を柱とし、これら3つの支援を一層効果的・円滑に実施するために多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援を一体的に実施します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	社会構造や人々の暮らしが変化する中で、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、ともに生きる社会づくりに取り組むための体制整備
対象 (誰・何を対象として)	地域生活課題を抱える地域住民
手段 (どのようなやり方で)	既存の相談支援事業を活用し、縦割りでない包括的相談支援体制の整備を行い、多機関協働による支援において、支援の進捗状況を確認し調整役を担い、支援プランの策定を行うことで、包括的な支援体制を構築する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	縦割りでは解決できない支援ニーズに対応できるようになる。また、今まで解決できなかったケースを抱える市民、市及び「支え手」「受け手」となるすべての関係機関の負担感の軽減にもつながる。SDGs17の目標「1 貧困をなくそう」「3 すべての人に健康と福祉を」の達成につながる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	重層的支援会議の開催 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の充実	重層的支援会議の開催 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の充実	重層的支援会議の開催 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の充実

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ件数	件	76 (R6)	76	76	76	76 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	重層的支援体制整備の周知	回	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	②	プラン作成実施率	%	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	28,028	25,692	25,658	25,692	77,042
一般財源	7,006	6,437	6,418	6,437	19,292
特定財源	21,022	19,255	19,240	19,255	57,750

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	成年後見制度利用促進体制整備推進事業	NO.	21
担当所属	地域福祉課	関連所属	高齢者支援課、障がい福祉課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__4. 地域福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 重層的支援体制の充実	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	認知症、知的障がいその他の精神上の障がいがあることにより、財産の管理や日常生活等に支障がある方の権利擁護のため、成年後見制度を必要とする人が制度を利用できるように体制整備を行います。また、財産の管理等に支障がある方に代わって、家庭裁判所に後見人等選任のための申立手続や利用に係る援助を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	成年後見制度を必要とする人が制度を利用できるよう体制整備を実施するとともに、その支援を行う支援関係者を支援する体制を整備する。 親族等の援助を受けられない者で、判断能力の不十分な人の財産管理などに対して、保護や支援を図る。
対象 (誰・何を対象として)	認知症、知的障がいその他の精神上の障がいがあることにより財産の管理や日常生活等に支障がある方 また、その支援をする支援関係者
手段 (どのようなやり方で)	権利擁護支援の地域連携ネットワーク（権利擁護支援チーム、協議会、中核機関）の構築、市民後見人の育成、成年後見等の開始審判の請求、請求に係る費用と成年後見人等に対する報酬費用の助成
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	権利擁護を必要とする方には必要な支援が行われ、市、地域、支援関係者にとっては適切な支援の実施や地域課題の解決、地域で支えあう地域共生社会の実現といった地域福祉の推進につながる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	成年後見制度に関する広報啓発活動 権利擁護人材の育成	成年後見制度に関する広報啓発活動 権利擁護人材の育成	成年後見制度に関する広報啓発活動 権利擁護人材の育成

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	市民後見人登録者数	人	17 (R6)	20	20	23	23 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	市民後見人制度の周知回数	回	0 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②	市民後見人フォローアップ研修の実施	回	4 (R6)	4	4	4	4 (R10)
	③	権利擁護推進会議及び定例会議開催	回	7 (R6)	12	12	12	12 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	17,342	19,898	19,898	19,898	59,694
一般財源	13,716	16,025	16,025	16,025	48,075
特定財源	3,626	3,873	3,873	3,873	11,619

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	生活困窮者自立支援事業	NO.	22
担当所属	地域福祉課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_4. 地域福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 経済的に困難を抱える市民の生活基盤の安定と自立の	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行います。また、関係機関との連絡調整を行うとともに、相談支援及び就労支援を包括的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため生活困窮者に対して包括的な支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	生活困窮者（経済的困窮の状態または社会的孤立の状態に陥っている者）
手段 (どのようなやり方で)	直営により行う。主任相談支援員を筆頭とし、相談支援員5名及び就労支援員2名を会計年度任用職員で雇用し、伴走型の相談支援及び就労支援を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を支援する。生活困窮者の自立と尊厳を確保し、日常生活自立、社会生活自立、経済的自立を目指す。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	相談及び支援の実施 支援調整会議の開催 重層的支援体制整備事業との連携	相談及び支援の実施 支援調整会議の開催 重層的支援体制整備事業との連携	相談及び支援の実施 支援調整会議の開催 重層的支援体制整備事業との連携

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	新規相談受付件数	人	122 (R6)	125	130	135	135 (R10)
	②	延べ対応件数	件	3,668 (R6)	3,680	3,690	3,700	3,700 (R10)
	③							
活動指標	①	支援調整会議開催件数	回	12 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	13,375	14,164	14,164	14,164	42,492
一般財源	3,344	3,543	3,543	3,543	10,629
特定財源	10,031	10,621	10,621	10,621	31,863

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	終活情報登録事業	NO.	23
担当所属	地域福祉課	関連所属	地域福祉課、高齢者支援課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__4. 地域福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 経済的に困難を抱える市民の生活基盤の安定と自立の促進	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	高齢者等が自らの意思を的確に伝達し、希望に沿った終末期の医療、円滑な死後事務等の実現につなげるため、緊急連絡先や終活に係る生前契約等の終活関連情報をあらかじめ登録することで、病気、事故等により自力で意思表示ができなくなったとき、又は死亡したときに、警察、消防、医療機関やあらかじめ指定した親族、友人等に登録情報を伝達します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	登録者の意思に沿った終末期の医療や、円滑な死後事務を支援し、親族の負担を軽減することを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	市内に住所を有する概ね65歳以上の方 その他市長が認める方
手段 (どのようなやり方で)	申請書に必要な事項を記入し、市役所などの窓口へ提出することで、緊急連絡先やエンディングノートの保管場所、葬儀に関する希望などの情報を登録する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	登録者の意思が尊重され、死後の不安が軽減されること。 親族が本人の意向を正確に把握できないといった事態を防ぎ、親族の精神的・物理的な負担が軽減されること。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	終活情報登録事業の開始 周知活動の実施	終活情報登録事業の充実 周知活動の実施	終活情報登録事業の充実 周知活動の実施

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	新規登録者数	人	0 (R6)	10	15	20	20 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	事業の周知回数	回	0 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	22	22	22	66
一般財源	0	22	22	22	66
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	一般介護予防事業	NO.	24
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	介護会計
	方向性	(1) 介護予防と健康づくりの推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく自立した生活を送れるよう、介護予防や重度化防止のための取組に関する普及啓発を行います。また、自主的に活動を行う団体へ補助金交付やリハビリ専門職等との連携による活動支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	介護予防に関する知識や地域において自主的な介護予防に関する活動が広がることにより、要介護状態となることの予防、あるいは要介護状態となっても重度化を防止する。
対象 (誰・何を対象として)	おおむね65歳以上の高齢者及び介護予防の取組を推進する者
手段 (どのようなやり方で)	加齢や病気により心身の機能が低下した高齢者を把握し、運動や栄養などの介護予防に関する知識の普及啓発を行ったり、介護予防に取り組む高齢者への支援として、活動団体への補助金の交付や活動を支援するはつらつシニアサポーターの養成、リハビリ専門職との連携を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	高齢者が自立していきいきとした生活を送ることができる。あるいは要介護状態となっても生きがいや役割を持って生活できる等、生活の質(QOL)を保持することができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	各種介護予防事業の実施(eスポーツ実証事業含む) 介護予防活動団体への活動支援(補助金交付等)	各種介護予防事業の実施(eスポーツ事業の実施含む) 介護予防活動団体への活動支援(補助金交付等)	各種介護予防事業の実施(eスポーツ事業の実施含む) 介護予防活動団体への活動支援(補助金交付等)

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	袖ヶ浦いきいき百歳体操参加者	人	1,344 (R6)	1,460	1,460	1,460	1,460 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	おらが出張講座回数	回	73 (R6)	61	71	71	71 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	6,572	6,100	6,100	6,100	18,300
一般財源	1,840	1,707	1,707	1,707	5,121
特定財源	4,732	4,393	4,393	4,393	13,179

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	介護人材確保育成支援事業	NO.	25
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 住み慣れた地域での生活支援	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	介護保険サービスの安定的な提供を行うため、市内介護サービス事業所等に従事する人材の確保及び職場への定着と育成を支援します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	要介護高齢者数が増加し、介護サービス従事者がますます不足していくことが見込まれることから、安定した介護サービスの提供を行うため、市内介護サービス事業所等に従事する介護人材の確保及び職場への定着と育成を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	介護職員初任者研修若しくは主任介護支援専門員研修等を受講又は介護支援専門員資格を取得した上で、市内介護サービス事業所等に就労している者
手段 (どのようなやり方で)	介護支援専門員及び主任介護支援専門員の資格の取得及び更新等並びに介護職員初任者研修に要する経費を補助する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	必要な介護サービス提供に必要な人材を確保でき、要介護認定者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	補助金の交付 介護職員初任者研修受講費用補助 介護支援専門員資格取得費用補助 主任介護支援専門員研修受講費用補助 介護支援専門員等更新研修・再研修補助	補助金の交付 介護職員初任者研修受講費用補助 介護支援専門員資格取得費用補助 主任介護支援専門員研修受講費用補助 介護支援専門員等更新研修・再研修補助	補助金の交付 介護職員初任者研修受講費用補助 介護支援専門員資格取得費用補助 主任介護支援専門員研修受講費用補助 介護支援専門員等更新研修・再研修補助

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 介護職員初任者研修を修了し、市内の介護サービス事業所等で就労している者の数	人	4 (R6)	10	10	10	10 (R10)
	② 介護支援専門員の資格を取得もしくは主任介護支援専門員研修を修了し、市内の介護サービス事業所等で就労している者の数	人	4 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③ 介護支援専門員等の更新研修等を修了し、引き続き、市内の介護サービス事業所等で就労している者の数	人	0 (R6)	6	6	6	6 (R10)
活動指標	① 介護職員初任者研修受講費用補助件数	件	4 (R6)	10	10	10	10 (R10)
	② 介護支援専門員資格取得費用補助件数、主任介護支援専門員研修受講費用補助件数	件	4 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③ 介護支援専門員等更新研修等受講費用補助件数	件	0 (R6)	6	6	6	6 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費		888	888	888	2,664
一般財源		513	513	513	1,539
特定財源		375	375	375	1,125

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	介護保険サービス事業所整備事業	NO.	26
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和8年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 住み慣れた地域での生活支援	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護サービス基盤を整備します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするため、介護サービス基盤（介護保険サービス事業所）を整備する。
対象 (誰・何を対象として)	事業所を整備運営する事業者
手段 (どのようなやり方で)	公募により事業所の整備・運営を希望する事業者を募集した上で整備運営事業者を決定し、事業を推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	事業所を整備することにより、要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画		認知症対応型共同生活介護の整備 (1施設)	

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 認知症対応型共同生活介護の施設数	施設	4 (R6)	4	5	5	5 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 公的介護施設等整備事業補助金（開設準備事業）交付件数	件	2 (R6)	2	—	—	2 (R8)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	0	60,151	0	0	60,151
一般財源	0	3	0	0	3
特定財源	0	60,148	0	0	60,148

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	高齢者移動支援事業	NO.	27
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 住み慣れた地域での生活支援	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、移動手段の確保が困難な高齢者の移動を支援します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	居宅で生活する移動手段を持たない方に対して、移動手段の確保と経済的負担を軽減するため、タクシー料金の一部を助成することにより高齢者の移動を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	65歳以上で構成される非課税世帯に属する方のうち、75歳以上の方（タクシー料金の一部を助成）
手段 (どのようなやり方で)	助成事業に協力する事業者の高齢者タクシーを利用した場合に運賃の一部を助成する。（当該申請を受理した日の属する月から当該年度の終了する月まで、1月当たり500円券3枚）
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	高齢者の移動にかかる経済的負担の軽減が図られるとともに、通院や買い物などの支援を図ることにより、高齢者本人が心身ともに健康で、住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	事業周知 高齢者タクシー利用券の助成 事業対象者の検討	事業周知 高齢者タクシー利用券の助成 事業対象者の検討・事業のあり方の検討	事業周知 高齢者タクシー利用券の助成 見直しを反映した事業の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 高齢者タクシー利用率 (枚数)	%	70.7 (R6)	71.0	71.0	71.0	71.0 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 制度の周知回数	回	4 (R6)	4	4	4	4 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	6,085	5,748	6,324	6,954	19,026
一般財源	6,085	5,748	6,324	6,954	19,026
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域包括支援センターによる相談体制の充実	NO.	28
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 住み慣れた地域での生活支援	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地域包括ケアシステムの深化・推進を進める中核的機関を担う地域包括支援センターを安定的に運営し、増加する高齢者人口への対応、また複雑化する高齢者に関する相談体制の充実を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域包括支援センターが増加する高齢者人口に対応し、高齢者を取り巻く複雑化複合化する相談体制の充実を図り、関係機関と連携をとりながら包括的な支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	おおむね65歳以上の高齢者。
手段 (どのようなやり方で)	相談体制の充実を図るため、民間活力を導入した委託による各地区地域包括支援センターの安定的な運営を図るとともに、市は直営による基幹型地域包括支援センターとして、各地区地域包括支援センターの後方支援や情報共有等の役割を果たす。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	支援を必要とする高齢者に包括的な支援を行い、複雑化複合化する相談体制の充実を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	地域包括支援センター運營業務委託の継続 基幹型地域包括支援センターによる後方支援や情報共有	地域包括支援センター運營業務委託の更新に向けた準備 基幹型地域包括支援センターによる後方支援や情報共有	地域包括支援センター運營業務委託の更新 基幹型地域包括支援センターによる後方支援や情報共有

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 地域包括支援センター数	箇所	3 (R6)	4	4	4	4 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 月例会の開催	回	12 (R6)	12	12	12	12 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	91,797	83,750	83,340	84,588	251,678
一般財源	21,113	19,262	19,168	19,456	57,886
特定財源	70,684	64,488	64,172	65,132	193,792

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	生活支援体制整備事業	NO.	29
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 地域で支え合う仕組みづくりの推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	住民同士の助け合いやNPO等多様な主体による生活支援サービスの充実を図り、地域における支え合いの体制づくりを進めます。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	地域における多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築し、地域の支え合いの体制づくりを推進する。
対象 (誰・何を対象として)	65歳以上の高齢者、地域住民、医療・介護関係者、ボランティア、NPO団体、民間事業者
手段 (どのようなやり方で)	市及び袖ヶ浦市社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、市内5圏域に設置した協議体を活用しながら、高齢者のニーズ及び既存の地域資源の把握、生活支援等サービスの開発や担い手の養成、関係者間のネットワークの構築、ニーズと取組みのマッチングを行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	多様な主体による生活支援・介護予防サービスの充実により、個々の高齢者のニーズに合った生活支援や介護予防が促進され、年齢を重ねても社会との関わりを持ちながら暮らし続けていくことのできる地域の仕組みを構築する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	生活支援サービス等の担い手養成と活動支援 高齢者のニーズと生活支援サービス等のマッチング 民間企業等による活動の創出検討	生活支援サービス等の担い手養成と活動支援 高齢者のニーズと生活支援サービス等のマッチング 民間企業等による活動の創出	生活支援サービス等の担い手養成と活動支援 高齢者のニーズと生活支援サービス等のマッチング 民間企業等による活動継続支援

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	住民主体の活動団体数	団体	13 (R6)	17	19	21	21 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	生活支援コーディネーターの他事業への参加回数	回	15 (R6)	22	22	22	22 (R10)
	②	生活支援コーディネーターの相談・地域資源情報収集等の対応件数	回	272 (R6)	280	280	280	280 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	20,253	20,256	20,256	20,256	60,768
一般財源	3,898	3,899	3,899	3,899	11,697
特定財源	16,355	16,357	16,357	16,357	49,071

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	「新しい認知症観」の普及事業	NO.	30
担当所属	高齢者支援課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_5. 高齢者福祉	会計区分	介護会計
	方向性	(3) 地域で支え合う仕組みづくりの推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	令和6年1月に認知症基本法が施行され、認知症の人が尊厳を守りながら住み慣れた地域で暮らしていけるよう「新しい認知症観」の普及啓発、認知症の人との共生社会の実現を図るための取組を進める。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	認知症の人やその家族等の活動を支援する認知症サポーターの養成に加え、「新しい認知症観」を広く市民に理解してもらう。
対象 (誰・何を対象として)	認知症の人やその家族、地域住民及び地域で活動するあらゆる事業者等
手段 (どのようなやり方で)	「新しい認知症観」を盛り込んだ認知症サポーター養成講座の開催や認知症に関する情報が掲載された認知症ケアパスの配布、認知症サポーターを中心に自主的活動を行うチームオレンジの活動等の支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	認知症に関する正しい知識の普及啓発及び地域で活躍できるよう社会参加の機会を確保し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる共生社会の実現を目指す。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	認知症の普及啓発に関する各種事業の実施 チームオレンジの活動支援	認知症の普及啓発に関する各種事業の実施 チームオレンジの活動支援	認知症の普及啓発に関する各種事業の実施 チームオレンジの活動支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 認知症サポーター養成講座受講者数	人	404 (R6)	430	430	430	430 (R10)
	② チームオレンジの団体数	団体	0 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	③						
活動指標	① 認知症サポーター養成講座開催回数	回	16 (R6)	18	18	18	18 (R10)
	② 認知症サポーターステップアップ講座開催回数	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	63	55	222	578	855
一般財源	15	12	51	133	196
特定財源	48	43	171	445	659

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	相談支援事業	NO.	31
担当所属	障がい福祉課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_6. 障がい福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 障がいのある人の地域生活支援の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	障がいのある人が日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。障がい者等への支援体制の整備を図るため「地域総合支援協議会」の活動を行います。地域における相談支援の中核的な役割を担う「基幹相談支援センター」に専門的な職員を配置し、障がい者の生活を地域全体で支えるための体制を整え、他分野と連携し、複合的な課題を抱えた市民に対し相談支援を行います。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、障害全般及び障害ごとの相談支援体制を整備し、支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	身体・知的・精神等の障がい有者又は児童（発達障害を含む）、その保護者及び関係機関等
手段 (どのようなやり方で)	障がいのある人からの多様な相談に応じ、必要な情報提供や福祉サービスの利用援助等を行う。地域における相談支援の中核的な役割を担う機関としての基幹相談支援センターを運営し、総合的・専門的な相談支援、地域の相談支援体制の強化等を図る。地域総合支援協議会の活動を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	障がいのある人の日常生活又は社会生活を支援し、障がい者又は障がい児への支援体制の整備を図り、自立と社会参加に寄与する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	障害者相談支援・基幹相談支援センターの運営 地域総合支援協議会の運営支援	障害者相談支援・基幹相談支援センターの運営 地域総合支援協議会の運営支援	障害者相談支援・基幹相談支援センターの運営 地域総合支援協議会の運営支援

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	障害者相談支援事業相談件数	件	1,790 (R6)	1,900	2,000	2,100	2,100 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	障害者相談支援事業周知回数	回	1 (R6)	13	13	13	13 (R10)
	②	地域総合支援協議会・実務者全体会・実務者会開催回数	回	51 (R6)	50	50	50	50 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	17,892	26,083	25,943	25,943	77,969
一般財源	13,689	17,628	17,488	17,488	52,604
特定財源	4,203	8,455	8,455	8,455	25,365

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	療育支援事業	NO.	32
担当所属	障がい福祉課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_6. 障がい福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 障がいのある人の地域生活支援の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	発達面等が気になる未就学児等に、有資格者による相談支援、心理、言語、運動機能に関する療育支援を行います。障がい・子育て・保育・教育の分野で連携し、適切な支援を実施することで、発達課題への対応や基本的な生活能力の向上を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	障がい児等の自立を支援するため、早期診断、適切な治療や訓練を実施し、また、障がい児等やその家族に対して適切な相談支援を実施することにより、障害の軽減や基本的な生活能力の向上を図る。
対象 (誰・何を対象として)	袖ヶ浦市に住所を有し、住民基本台帳に登録されている在宅障がい児等及びその保護者等
手段 (どのようなやり方で)	相談支援事業等を適切に運営できると認められる法人に委託し実施する。 療育に関する相談支援、療育（心理、言語、運動）に関する支援、必要な支援会議等の開催、施設（保育所、幼稚園等）への巡回支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	適切な相談支援を実施することにより自立を支援し、地域生活における療育、相談支援体制の充実及び在宅障がい児等やその家族の福祉の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	療育支援の実施	療育支援の実施	療育支援の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 発達障害児等療育支援事業申請件数	件	1,154 (R6)	1,190	1,190	1,190	1,190 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 障害者相談支援事業周知回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	12,625	12,860	13,887	13,887	40,634
一般財源	11,227	11,323	12,350	12,350	36,023
特定財源	1,398	1,537	1,537	1,537	4,611

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	成年後見制度利用支援事業	NO.	33
担当所属	障がい福祉課	関連所属	高齢者支援課、地域福祉課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__1. 子育て・健康・福祉	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_6. 障がい福祉	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 権利擁護の推進	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	知的障がいその他の精神上的の障がいがあることにより財産の管理又は日常生活等に支障がある方が、住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、成年後見制度が適切かつ十分に利用されるよう、申し立てや費用助成により利用支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	核家族化、介護者の高齢化、障がいのある方の増加傾向に対応するため、親族等の援助を受けられない人で、知的障がい等により判断能力の不十分な人の財産管理などに対して、保護や支援を図る。
対象 (誰・何を対象として)	知的障がい又は精神障がいによって物事を判断する能力が十分でない者
手段 (どのようなやり方で)	成年後見制度についての周知、相談支援を行う、成年後見等の審判請求が必要となる場合は、本人に代わって申し立て手続きを行う。また、被後見人等の財産状況に応じて成年後見人等に対する報酬や申立費用を助成する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	知的障がい又は精神障がいによって物事を判断する能力が十分でない者に対し、後見人等の援助を受けられるよう手続きを行い、被後見人等の権利擁護を行うことができ、増加傾向にあるニーズに対応する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	相談対応・関係機関連携 申立費用助成及び報酬助成	相談対応・関係機関連携 申立費用助成及び報酬助成	相談対応・関係機関連携 申立費用助成及び報酬助成

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 申立費用助成件数	件	0 (R6)	1	2	3	3 (R10)
	② 報酬助成件数	件	10 (R6)	10	11	12	12 (R10)
	③						
活動指標	① 制度周知回数	回	1 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	② 中核機関ケース検討会議・権利擁護支援定例会議検討回数	回	16 (R6)	16	17	18	18 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	4,042	4,042	4,258	4,258	12,558
一般財源	1,919	1,919	2,022	2,022	5,963
特定財源	2,123	2,123	2,236	2,236	6,595